

Star Fish Journal

2012年4月アーカイブ

好守併殺

tsuji (2012年4月21日 16:40) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

天気予報では40パーセント
前日に私が見たときはですが
雨具も一応持ち
神宮球場へスワローズ対ジャイアンツを
観戦に。



この日、まだ着いたときの昼間は暖かく、
春の陽気でビールを片手に野球をというところ
でした。試合前というのに早めから売って
いましたが、この時にはまだ私は買わず。



球場に入る前に、普段は直前かもう少し前に
ドームや屋外に来ることが多く、この日は
少し時間もあり、周りを一回りしました。



野球圏ではない国の人も観戦に来ていて、
連れを待ったりしていたので、少し立ち話。
クリケットについて私は詳しくないですが、
この競技が盛んな地域であり野球とは
両立しないのではないのでしょうか。
競技人口も多いです。

カテゴリ

月別 アーカイブ

[2013年1月 \(4\)](#)
[2012年12月 \(5\)](#)
[2012年11月 \(6\)](#)
[2012年10月 \(4\)](#)
[2012年9月 \(6\)](#)
[2012年8月 \(5\)](#)
[2012年7月 \(6\)](#)
[2012年6月 \(7\)](#)
[2012年5月 \(4\)](#)
[2012年4月 \(6\)](#)
[2012年3月 \(6\)](#)
[2012年2月 \(6\)](#)
[2012年1月 \(8\)](#)
[2011年12月 \(9\)](#)
[2011年11月 \(5\)](#)
[2011年6月 \(3\)](#)
[2011年5月 \(1\)](#)
[2011年3月 \(1\)](#)
[2011年2月 \(4\)](#)
[2011年1月 \(7\)](#)
[2010年12月 \(6\)](#)
[2010年11月 \(4\)](#)

ウェブページ

 [このブログを購読](#)

POWERED BY
MT5
MOVABLE TYPE®

検索

このアーカイブについて

このページには、**2012年4月**に書かれたブログ記事が新しい順に公開されています。

前のアーカイブは**2012年3月**です。

次のアーカイブは**2012年5月**です。

最近のコンテンツは**インデックス**ページで見られます。過去に書かれたものは**アーカイブのページ**で見られます。



試合開始まで時間がありましたが、入場するとジャイアンツの選手がバッティング練習していました。このところ、あまり打てなく、あと1本欲しいという感じです。練習の風景も見れました。練習時や昼の試合？(2軍)を見て、その日に当たりそうな選手を抜擢もあるでしょう。



試合は初回、1アウト満塁から村田のタイムリーで先制しそのあとの小笠原が(多分)フルカウントから

☆ヤクルトファンには申し訳ない
[打った打球は](#)

カメラを見ていてその瞬間を見れなかったですし、操作を間違えて録画を止めてしまいました。(編集して削ったのではありません)残念でした。このプレイがこの試合のポイントでした。いいプレイでした。



2回以降、村中が立ち直り、ジャイアンツは攻めきれませんでした。内海もいい投球をしていたのですが、ソロホームラン(バレンティン)の一発の失点はしかたないと思います。タイムリーを放った畠山が送球間に2塁でアウトになれば1アウト1,3塁ということ、中村のヒットから谷が本塁で宮本をアウトにしたことなどジャイアンツの守備はよかったと思います。ヤクルトも宮本の併殺にしたバント処理など見事でした。



8回裏に2アウトから代走が、誘い出されてだったと思いますがアウトになったのですが、この時のバッターはこの打席を規定打席の積み上げ？に加算できるのか、考えてみて、分からないことも

ありました。



中学生だったか高校生だったか、昼間の時間でないので小学生ではなかったと思いますが、学校やクラス単位で観戦に来ていて、みんな傘を持っているみたいなのですが(通常緑)、1人ずつ買うというのではなく、もらえるのでしょうか。



この子の名前は？



つば九郎・つばみ弁当です。

雨は一時パラつく程度で大丈夫だったのですが、昼間からはだいぶ気温も下がり、割り合いうすぎでしたので、レインコートを着込みました。熱燗も売りにきてくれて、少し暖かくなり、試合終了まであと1点を取るのを期待して、反撃を待ちました。

佐倉城址公園

tsuji (2012年4月19日 12:45) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



この前の日曜日に、佐倉まで出かけました。



この日は洛中洛外図屏風と風俗画やお花見もあり、思った以上に込んでいました。駅から歩いてきたと行っていたドイツ人と話し、一緒にいてその時は別の展示を見ていた女性はイタリアからとあとで言っていたので、ヨーロッパの人は言葉では統合？というか、複数使えるのかもしれません。私は2つ以外はあまり分らないです。幼稚園で英語を教えているニューキャッスルから来て間もない方とも話し、日本語環境で困ることもあるようでした。



屋食も待ち時間があり中野から着たという親子の日本人の間の椅子が空いたので座り、あとでそのことに気づいて、席を交換しました。古代カレーです。



洛中洛外図屏風と風俗画はかなり細かいところまで作り込まれ、身近な対象の当時の様々な(職業の)人々の生活を垣間見ることができました。



嫁入り道具としてという性格のものもあったようです。(絵を携える)



展示室の中は今回の企画展では撮影禁止なこともありましたし、説明のメモなど手元になく分からないものもあります。



博物館の展示量に今回の企画展があつて、丁寧に見て廻るのは、時間も要すると思います。今回あまり見られなかったものもよく見たいです。



公園内では、決まっている駐車場は満杯なようでその他の場所を臨時でスペースに使っていて、そのことや公園内を散策しても、人がたくさんで、ちょっと葉っぱも見えたり、散りかかっていたりで、今年花見ができる最後の週末でした。



くらしの植物園や公園内の別の所でも、桜以外にもちょうど見頃の花が咲き、これから見られそうなもの、この日は足を延ばせなかったあたりもありましたので、また催しなどのときには足を運びたいです。

菜の花の時季に

tsuji (2012年4月13日 12:15) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



新選組が流山に転陣してきたのも
今の時期の頃で、そのころにもちょうど
菜の花が咲いていたかもしれません。



醸造家鴻池の永岡三郎兵衛宅を本陣としていました。



近隣のお寺などに分かれて分宿していて、
本陣は手薄だったため大久保は簡単に
出頭しました。



ここを渡って、越谷へ行き、板橋で束縛される
ことになったのでしょうか。現在では橋を使いま
すので、渡し跡は多いですが、この近辺で
渡し船は運行してはいないと思います。
行軍で江戸川(江戸時代の名称は利根川)の
土手を歩いていると川行く船の乗客(たくさん
乗っていたので)はこちらに手を振って
いました。



この頃の戦闘は銃や大砲が主体であるけれども私の印象では新選組は刀を使っていて、寸劇など

[立ち回りも披露](#)されました。



茨城玉造隊・新選組流山隊・新選組滝野川隊



キッコーマン会場では地元の和菓子・洋菓子店やレストランなどがお店を開いていました。葉の花まつりで他のイベントもあったようです。



夕月や流残りのきりぎりす
生命のかけらである作者自身への鋭い眼差しが
のぞいている。(この句は秋です)





お寺も多く、杜のアトリエ黎明、一茶双樹記念館などあります。私も行ったことないところも多いです。暖かい春の日ざしに誘われて、降りる駅からでも、ウォーキングを楽しんでみてください。

花見

tsuji (2012年4月11日 16:50) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)



春になって、桜も咲いたといっているのに上野公園を通ると、ちょうどいいぐらいに開いていました。



花見は日本人の習慣と主に思っていました。外国の方もチラホラといました。清水観音堂で御守を比べている英米人や全員が言葉が通じる訳ではないのですがこの日会った中国人の2グループなど、その他中央アジアの国ですか書いてる今では正確に思い出せませんが、花見はよく知られているみたいです。



観音堂の出口から中国人と話し、右へ進み分れました。そこで日本人のベビーカーを押しているカップルに出口はどう行ったらいいのかを教えてあげ

ました。上野駅の方や湯島、根津。聞いてみると芸大の方ではなく、不忍の池の方に出たいということで、それで階段は降りたくないということでした。花園稲荷神社や私は上野から乗ったことはありませんが京成線の駐車場の辺は高く階段があるので、「矢印」の左(南)の方へと教えてあげました。



観音堂の周りは高い所にあり、一度右、上に行ってから左に行くのがよかったです。



この日は天気もよく、ござやレジャーシートを広げてみんなでお酒を飲みながらも楽しめそうでした。そこから漏れて、というか桜が上にはないところで宴会をしているグループもありましたし、数人で歩きながら第3の缶ビールで乾杯していたりと、ささやかにもみなさん春を祝っていました。

型紙

tsuji (2012年4月 9日 15:58) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

世界が恋した日本のデザイン
KATAGAMI Style
を見てきました。



東京(有楽町)にある
三菱一号館美術館は
オープンしたのはそれほど昔ではなかった
と思います。その時にも見に行きました。
コンドルが手がけた建築ということで、
お茶の水のニコライ堂や不忍の池のそばの
旧岩崎家住宅洋館もたまに通ったりします。
明治の人なので、美術館は復元です。



来るときにここの側でメモのような物をもって困っているみたいな外国の方に丸ビルはどこなのかを教えてあげました。現在位置が一瞬どこだか分からなくなってしまって、再開発もあり高いビルがたくさんなので、ここを左の方に行くが、東京駅に出て行った方がいいといいました。



そちらにもレストランはたくさんあります。ここの中庭のような広場に面してもレストランはありましたしそのビルから地下もけっこうありました。カジキのメンチカツ丼です。



帰る時に3台ほど止まっているのを見ました。インドから来たという人がこの奥まった広場にいて、私には迷っている様にも見えて、なんでも2階建てのバスに乗って来て回っているとのこと、ロンドンのバスみたいのですかと聞きました。以前にも見たことがあったかもしれませんが、都内観光ははとバスが有名だと思うのですが、2階建てバスはどこが運営しているのでしょうか。



KATAGAMI STYLE は日本から発祥して世界へひろがるものが展示されていました。



(私は)詳しくなかったのできれいな型紙など展示されていても、どのように着物などに模様をつけるのか見ていてよく分からず疑問に思いました。型の穴が開いた所に染料を流し込み色をつけるというのではないということです。部屋にいたスタッフの方に尋ねると、型紙の上から糊をつける。そこに染料をつけると糊のある所は染料で染まらないので、そのあと糊を落とすと穴のところはそのまま模様になる(私の説明はうまくないですが)ということです。展示の最後の方のビデオの一部にそういうところの説明も少しあるということでしたが、それはちょっと細かすぎて(私はちょっと他のことを考えていたので)詳しくは理解できませんでした。



ネットでも見かける、アルフォンス・ミュシャもあり型紙ですかと聞くとそうではなく、他の展示物もありました。



会場ではどちらかというと年配の方が中心で若い人が少し混じった女性が8-10人程で来ていて、みなさん着物を着ていて、今回の展示に関係あるということとか関係者ではなくて、こういう機会なので着物を着たということでした。ジョージアからきたという3人組の方は、2人の男性は若そうに見えたのですが、兄弟と娘でした。絵画の展覧会では会場では静かにですが、話をしても大丈夫なところはあり、よかったです。

自由が丘

tsuji (2012年4月 3日 15:04) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

どうして自由かと由来をみると
どうも学園が最初のような感じです。



まだ小さい頃には一人で電車で遠くまで
といっても、それほど遠方でなくても、
行ってなかったり。よく知らない場所もあり
ます。あまり書くと行動範囲やなにかが推測
されることもあるかもしれません。



カバンの奥までしまったり出したり、すぐ出たく、
座っていない状態で持っているとしてしまいそう。
水で濡れず取っ手を持つか肩に掛けられて、小移動
のとき入れて、あとはそれごとカバンにしまえる
ものを探しました。



そんな訳でウインドーショッピングではないので
色々な物には目は奪われず、たくさんの店を見て廻る
のにもちょうど良かったです。



昼時から来たので、食事がそうこうしていて
遅くなってしまうましたが、日曜日にも日替わりの
メニューを出しているお店でいただきました。

揚げ豆腐と挽き肉の高菜漬風味煮
 ライス、蒸し鶏のサラダ、鶏ガラスープ、ザーサイ、
 タピオカ杏仁つき



その後、街を散策し、服など見たり、写真を撮ったり
 同じ場所に戻って来たような感じで、時計を見て
 ギャラリーなど1件ぐらい回れそうな時間なので
 地図を回転させながらそちらの方向まで。



Eckepunkt 奥沢7ー13ー13
 です。雑貨の店で、聞いて、3個入りのアップル
 ミューズリーを買いました。隣の隣ぐらいには
 レクサスがとまっていました。
 (後ろの図はハートになっていますが、大きな
 林檎で呼ばれます)



その後、



九品仏浄真寺にお参りをして、
建物内の仏像をガラス越しではよく見れなく残念では
あったのですが、境内を歩きました。

行きと違う駅で電車に乗り、時間も早くなっていまい、
乗換駅で均一ショップと雑誌の今回は立ち読みして
帰路につきました。



[« 2012年3月](#) | [メインページ](#) | [アーカイブ](#) | [2012年5月 »](#)

Powered by [Movable Type](#)